

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第6回 理事会

日 時：2014年 6月 25日(水) 19:00～22:10

場 所：コンセーレ バンケットルーム

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) : 福田(治)
(顧 問) : 山本
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、飯野、澤畑
(担 当 常 任 理 事) : 林、金
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎
(法令会計審査会議議長) : 廣田
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、中島(晴)、木村(武)、相馬
鈴木(善)
(副 議 長) : 宮林、渡邊、八木、高松、山田、福田(弘)、安野
(理 事) : 横島、梅田、岡田、増淵(代理)

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <梅田>
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <飯沼>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <岡田>
5. 関東地区宣言唱和 <安野>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名 30 / 33名
7. 議事録作成成人並びに議事録署名人の指名
議事録：<総務委員会>
議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
飯野 貴道
澤畑 敦史
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まず第6回の理事会に時間どおりお集まりいただきましたことに対してお礼申し上げるところでございます。第6回というところで本当の意味で今年、2014年度の間地点の理事会というふうになります。それぞれ予定者期間から委員長の皆様を中心に本当に頑張っていたいただいており、これから夏に向けてたくさんの事業、諸会議等も増えてくるところではございますし、また今日も昼間非常に強い雨が降ったりなど天候が非常に不安定ななかでありますけれども体調をくずさぬようしっかりと日々すごしていただきたいと思っております。また当たり前のように本日もこの会議を設営していただいております総務委員会の皆様ありがとうございます。この当たり前にしていただけるということが本当に非常にありがたいことでもありますし、本当に何回もやっておりますから当然ではあるのですが、精度がどんどんあがってきております。これからの後半戦も是非よろしくお願ひしたいというふうに思っております。

今日はまずはASPACの話から少し始めたいというふうに思っておりますけれども、6月例会としてASPACに参加をしてきたわけでございます。豊崎委員長をはじめとするJC運動発信委員会の皆様には本当にご苦勞をおかけしましたし、もちろん渉外委員会の皆様方にも、ブースであったりですとか、アテンド等に関しまして本当にしっかりとご対応していただきました。本当にありがとうございます。そして今年はJAPANナイトのブースでもかなり多くの海外のメンバーに宇都宮のブースに来ていただくことができ、本当に交流を持つことができたと思っております。そして山形まできていただいたメンバーはインターナショナルナイト等、本当にJCでしか味わえない国際の機会をしっかりと味わえたのではないかなというふうに思っております。そして東日本大震災後、はじめての日本開催での国際会議で、日本人として海外の皆様には日本は元気だよと、日本人として伝えたいといけないなというお話を以前させていただいたかというふうに思っておりますけれども、本当に日本JCのメンバーが多く参加をしたASPAC山形大会で、しっかりと海外の人に対して日本の現状をお伝えできたと思っております。やはり個になると非常に価値観といいますか説得力が増すといいますか、たとえば仮に政治家が会議やメディア等で日本は元気ですよというよりも、やはりああいう現地で日本人一人ひとりが元気になっている行動とか振る舞いをみせた方が海外の方は実感すると思うのです。そういった意味においては非常に素晴らしいASPAC山形大会になったのではないかなというふうに思っております。そして出向者の皆様にも本当に活躍していただいております。国際グループに赤松君が委員長、金常任が総括、そして多くのメンバーに日本JCの相互理解確立委員会に出向していただいておりますけれども、国際グループのメンバーとしてしっかりと活躍した姿を目にもしてきましたし、非常に誇らしく思ったわけでございます。また、梅田君も体調を崩されたり、セレモニーで緊張したり、日本の総務委員会のVCらしくないところも今日はありましたけれども、先日、日本JCの理事会に行きました時に、梅田君のしっかりとした活躍というのも本当にみさせていただきましたし、日本JCの総務委員会には総務部屋という部屋がありそこで準備をしているのですけれども、そこでも梅田副委員長は周りのメンバーといい雰囲気のもと仲よくしており、しかし会議の設営はしっかりとされていたということで本当にありがたく、そして誇らしく思っております。いつも本当にありがとうございます。

そして残念ではありますけれども、ワールドカップですが、皆さん多分今日は朝からみていた方も非常に多いのではなかったのかと思います。負けてしまったのですけれどもワールドカップのことで2点だけお話させていただきたいと思っております。まず私が感じたことなのですが、非常に残念ではあったのですけれども嬉しかった部分もあります。もちろん負けたことに対しての悔しさというのにはありましたし、なにか喪失感のようなものもあったわけがありますけれども、なにが嬉しかったかというところとサッカーの可能性をすごく感じたのです。未来に対する可能性。といいますのは連日の報道、そしてJCのメンバーともいろんなワールドカップの話題でお話をさせていただいております。一昔前ですと日本国内では1億総野球評論家といういい方がされていたのです。逆にいえばそれだけ野球が根付いていたということなのです。もちろんご存知のとおり、野球でいうところのワールドカップ、WBCで日

本は世界1位になっております。今現状はどうかというと、プロ野球の話をする人はあまりいないです。それよりもサッカー、あのプレーがどうだった、あの監督の采配がどうだったというような検証をするというのは、ある意味サッカーが根付いてきた証拠なのかなというふうに感じました。そして2つ目になりますが、こちらは可能性を感じた話になるのですが、今日の試合、負けてはしまいましたが、すごく攻めていました。前半同点に追いついて非常に攻撃的なサッカーをしていました。最終的には大差がついてしまったわけですが、あれだけチャレンジをしてさらにいくあの選手の姿をみてなんともいえない気持ちになったのです。私も行動を起こしたくなるようなそんな気持ちの今日の朝でした。多分言葉にいかえると勇気もらったということだと思ふのです。あと感動をした。そういういい方になるのだと思うのですが、その頑張っている姿をみてこちらが衝動に駆られるというような気持ちになったわけでございます。そういった意味で日本のこれからに対して未来の可能性を感じた今日の朝でございましたし、またこれはJ Cにも置きかえられると思うのです。我々はなんのために活動しているのか、もちろん自分の成長のためでもあります、J Cというフィルターをとおして活動していく、運動体の中で活動しているわけでありますから人びとに衝動を与えていかないといけないと思うのです。感動そして市民の皆様がよりよくなるように、そしてよりよい街になるように行動し、いい影響を与えていくのがJ Cだと思うのです。そんな日本代表の姿をみて我われ自身もしっかりと未来をみすえながら前をむいて、そして一生懸命やってこそ多分市民の皆様もついてきてくれるのではないかと、いい影響を与えていけるのではないかと思ったわけであります。そしてそれこそがJ Cの価値ではないかと私は強く思いました。そしてそのJ Cの価値を決定するのがこの理事会の場です。この理事会ですべての事業、その予算、内容も執行をされていくわけですから、この理事会ですっきりと協議をして精査をしてそして事業をきめていくことこそが未来の宇都宮、その価値を決めていくと強く感じた次第であります。

結びになりますが、今週末いよいよラ・バンバがあります。全国大会招致会議とJ C運動発信委員会が連携をして、フェイスブックなどでどんどんPRをしていただいておりますし、私も先日ラジオで、羽石議長とは別に告知をさせていただきました。1点心配なのは本当に雨だけなのであります。曇り予報ということなのですが、この不安定な天候ですので雨が降ればすべて私の責任でございますので、担当されている皆様方は本当にしっかりと準備をしていただいて当日に向かって行ってほしいなと思います。そしてメンバー丸となってこのラ・バンバを成功させていきたいと思っております。本日の理事会もJ Cのきちんとした価値観を創出するために向き合ってもらいたいと思いますので最後までよろしくお願い致します。

1 1 . 直前理事長挨拶

< 福田 (治) >

先ほど理事長がおっしゃられましたとおり第6回理事会でございます。最初、村上理事長は優しくおっしゃいましたけれども、ちょっとだけいわしていただくとすると、6月にもなると皆さん理事会構成メンバーとして慣れてきます。正に梅田副委員長、岡田副委員長も少しみながらセレモニーいってました。是非皆さんセレモニーは覚えていただきたい。ということも村上理事長は入会2年目、3年目の副委員長、委員長をはじめ経験したときから委員会メンバーにずっとうたえてきたことであります。もちろんそれは理事会構成メンバーになれば当然のことです。当然これはJ Cで外にいても中であつてもどこかでいろんなことがあつても恥をかくのは自分自身、そしてその恥をかけた背中には宇都宮があるということも是非忘れないでいただきたいと思ふ。委員会メンバーには皆さんが覚えていないとそれは伝わらないと思ふので、まずこの理事構成メンバーから覚えていただきたい。そして何故いまこれをいうのかというと、第6回の理事会にもなると、予定者の始めのころは声の大きさも皆さんまばらだしそれぞれのスピードもまばらなのです。でも今日は皆さん揃ってきていた。だからこそ先程いった所が目立つのです。でなければ僕もそんな

にいわないでしょうし、これは昔宇都宮 J C の先輩からいわれたことなのですけれども、自然とその声が入り込んでいくこと、声の大きさやペースが入り込んでいくということで、理事会構成メンバーの心が入り込んでいくのだと。始めのときはもちろん経験地も違うのだからしょうがないし、慣れない初めての理事の人もいるし、何度目かの理事、何度目かのポジションで気負っているという人もいますけれども、理事会も第 6 回ともなると本当にびたっと皆さんの声が入り込んで、声のトーンまで合うようになっていくものなのです。それを本当に今日感じました。それでちょっとしたところが目立ちましたので、是非そのところを直してもらえれば、その部分においては皆さん完璧なのではないかと思うので心に留めておいてもらえればと思います。

常任理事会でもお話させていただきましたが明日、関東地区協議会の 2015 年度の会長を宇都宮の地で選出いたします。昨年皆さんにどのように動員がかかっていたのかちょっと把握できておりませんので申しわけありませんけれども、昨年本当に皆さんをお願いをして、本当にお忙しい時期に水戸の地に、49 人の皆さんに駆けつけていただきました。何を伝えたいかという一人の男、山本和紀という男を関東地区協議会の会長にという想いを僕は皆さんに伝えていたのでそのためだけに 50 人もが水戸に行ってくれた。それができる皆さんなのだとこのことを改めて思い返していただきたい。地区の選管というのが 8 ブロックすべてからこられます。そこをもてなす場ということで、皆さんホストでから動員がかかっていると思いますがしっかりとしていただきたい。ひとつの大きな機会でありますのでよろしくお願ひします。

理事長がサッカーの話をしたので私は野球の話をしたと思いますが、誰かルーズヴェルトゲームをみていた人はいますでしょうか。ルーズヴェルトゲームは野球用語なので調べてもらいたいと思いますが、何が伝えたいかといいますと、電機メーカーとその社会人野球の話なのですが、本当に最後はどちらも素晴らしいエンディングにはなるのですが、最後まで諦めない姿勢を全面に出したドラマなのです。いろいろ調べてみますと今の日本、これからなんとかしていくためにはこういう姿勢を大切にしていかななくてはいけないというところを社会メッセージとして発信しているみたいなのですが、ドラマの世界でそういうことをいう、半沢直樹の原作の方の作品みたいなのですが、やはり社会性、メッセージ性があると思うのです。そのメッセージというのはまた別ですけれども、皆さん方はこの宇都宮をなんとかよくしたいと思うからこそ今ここにおいて、理事となり、その職責をまっとうしようとしている。皆さん一人ひとりの成長というものが宇都宮 J C の成長につながっています。そして宇都宮 J C の成長がこの宇都宮という街全体の成長につながります。今月のこの理事会、2014 年度第 6 回理事会というのは後悔してももう 2 度とない、もう 1 回するということではできません。この理事会も諦めず、J C にもかいてありますとおりの情熱というのはなんなのか、諦めない気持ちというのにもここに含まれていると思います。是非 2 度とない理事会であるという気持ちを強くもってしっかりと挑んでいただきたいと思います。我われが宇都宮そのものである。本日もよろしくお願ひいたします。

顧問並びに公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会第 60 代会長挨拶 <山本>

今日はこのあと報告がございしますがその見届けにまいりました。正直にいいますと、いろいろな想いがこもってこれからこの報告の案件があるのですけれども、是非皆さんこの一言ひとことに真剣にむきあってほしいと思います。僕は 2012 年に理事長をやらせていただきました。そして 2011 年の理事会のときにこの報告をやらせていただきました。そのときに僕はこういうスピーチをしました。J C は青年の学び舎である。J C は青年の道場である。そして J C は人生のそして社会の縮図である。私はいまでもかわらずそう思っております。そしてその時にもうひとついわせていただいたのは、いまの LOM の中をしっかりとバランスをよくみられている方はこのなかでいらっしゃるのでしようかという話をさせていただきました。年齢的にも経験的にもそうでございます。そのときは卒業生がいい数いて、

中堅がいい数いて、そして若手がいい数いて、本当にバランスが整ったLOMでございました。今はどうでしょう、皆さんどう感じていますか。そのLOMを2015年牽引しようとしているのが、これから報告があがってくるものでございます。そしてこの会でもっとも大切とっていいのは理事長と委員長、副委員長の皆さん、皆様方でございます。何故かといいますと、この会で唯一夢を語っていいのは理事長と委員長の皆さん、皆様方でございます。そんなこと叶わないよ、そんなこと宇都宮JCではできないよというようなことを語っていいのが理事長と委員長でございます。その委員長たちを牽引するのが理事長でございます。夢を大きく、風呂敷を広げて語っていいのが理事長と委員長でございます。委員長の皆様、皆さんそうですからね。だからかっこいい委員長でいてもらわないと困るのです。だからかっこいい理事長でいてもらわないと困るのです。だけど理事長は神様でもなんでもございませぬ。急に宇都宮が素晴らしいものに明日からなる、そんな宇都宮をつくりあげられる理事長はいませぬ。もちろん委員長もそうです。だから理事長を守るのです。理事会構成メンバーの皆で理事長を守るのです。そして委員長をみんなで担ぐのです。それが宇都宮JCでございます。僕はそういうふう習って、そして今もそう信じてやみませぬ。そんな宇都宮JC、ここにいる皆さん、卒業するから関係ないではないですからね。僕もそうですけど皆で担ぐのです。そんな宇都宮JCを皆で、皆様お一人おひとりずつつくっていただきたいと思ひますし、その礎となるもの、その根底となるものはこうした理事会であり、委員会活動のひとつひとつでございます。足元をしっかりとみて、宇都JCの明日をつくっていく。そのためには2014年村上理事長をしっかり担ぐ。これが宇都宮JC理事会構成メンバーの使命でございますので、それをあらためて肝にすえていただきまして、報告の案件を聞いていただきたいと思ひますし、今年さらに自分の委員会、自分のやるべきことに向き合っていただけたらと思ひます。

12. 役員報告

<八木> ビジターの勧誘を引き続きお願いいたします。ラ・バンバ、会員拡大事業、この2つの例会に、より多くのビジターをご勧誘ください。

<橋本> 役員選挙 場所 コンセーレ3階第4会議室
6月30日(月) 17:00~20:00
不在者投票 場所 JC事務局
6月26日(木) 12:00~14:00
6月27日(金) 12:00~14:00

<鈴木(善)> 6月21日(土) 宮まつりポスター張りありがとうございました。
第2回宮まつり出向者会議 場所 コンセーレ大ホール
6月30日(月) 19:00~21:00

<山田> 全国大会対話集会 場所 大宮ソニックシティ
7月1日(火) 15:30~

<新妻> サマーコンファレンス 横浜
7月19日、7月20日開催のご案内

<羽石> ラ・バンバ事前説明会のご参加ありがとうございます。
ラ・バンバ ~この街に恋をしよう~
6月28日(土) 10:00~16:00
当日だてJCの皆様が事業にご参加、見学にこられます。

もんみや・下野新聞にラ・バンバの記事が掲載されました。

<中島(崇)>事務局の開放時間が管理人室の要請により23時までとなりました。時間内での退室をお願いいたします。

13. 審議事項

審-01 4月例会 法令会計事業 開催報告並びに決算(案)承認の件

審議資料に基づき、渡邊副議長より上程文の読み上げ。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<福田(弘)>事業概要に脱字がありますので修正願います。

<村上> 修正をお願いします。

<飯沼> メンバーメーリングを行った結果、感じたことを教えてください。

<渡邊> メーリングの文面をクイズ形式にするなど工夫をいれましたが文章だけではインパクト弱かったかもしれません。そのため動画、写真をつける案となりました。

【採決】 全会一致 審議可決

審-02 4月 姉妹JC交流事業 開催報告並びに決算(案)承認の件

審議資料に基づき、横島福委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 金常任補足ございますか。

<金> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<福田(弘)>事業目的、財政の記載を過去形に直してくださいとの記載がありますが、報告に直した方が公益法人としてよいのではと思います。法令会計審査会議への意見です。

<渡邊> 過去形という記載から報告という記載に直します。

【採決】 全会一致 審議可決

審-03 第110回通常総会 開催計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 橋本事務局長補足ございますか。

<橋本> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<木村(武)>事務局のAEDを使用してはどうですか。

<飯沼> 指摘いただきましたことを反映いたしまして、そのように対応いたしたいと思
います。

【採決】 全会一致 審議可決

審-04 8月 第30回わんぱく相撲全国大会 開催計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 林常任補足、コメントをお願いします。

<林> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントお願いいたします。

<廣田> 特段ございません。

<鈴木(善)>お弁当代2000円は振り込みではないですか。

<相馬> 7月5日オリエンテーション後に案内いたします。振り込みもその後になります。

<鈴木(善)>弁当代ふくまれていますか。

<相馬> 含まれています。

【採決】 全会一致 審議可決

審-05 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 開催計画並びに予算（案）承

認の件

審議資料に基づき、岡田副委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 林常任補足ございますか。
- <林> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントお願いします。
- <廣田> 特段ございません。

【採決】 全会一致 審議可決

審－０６ ７月例会 会員スキルアップ例会開催計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、安野副議長より上程文の読み上げ。

- <村上> 篠崎議長補足ございますか。
- <篠崎(達)> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントお願いします。
- <廣田> 特段ございません。

【採決】 全会一致 審議可決

審－０７ ２０１５年度監事推薦（案）承認の件

審議資料に基づき、高松選挙管理委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 中島専務補足ございますか。
- <中島(崇)> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントお願いします。
- <廣田> 特段ございません。
- <村上> 黒川監事の後に（留任）といれてください。

【採決】 全会一致 審議可決

審-08 6月新入会員認証（案）承認の件

審議資料に基づき、高松副議長より上程文の読み上げ。

- <村上> 太城議長ございますか。
- <太城> ご紹介ありがとうございます。
- <村上> 廣田議長コメントをお願いします。
- <廣田> 特段ございません。

【採決】 全会一致 審議可決

14. 協議事項

協-01 7月例会 会員スキルアップ例会開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、安野副議長より上程文の読み上げ。

- <高松> 先月セミナーだったものが講演に変わったのはなぜですか
- <安野> 前回理事長より理事長所信にそわないとの意見をいただき、会議体で事業そのもの見直した結果として例会を構築しなおしました。
- <飯沼> グループワークからの行動に移せたのかの検証はどのようにおこないますか。
- <安野> ワークシートを使った検証をおこないます。
- <金> タイムスケジュールで講演の時間が長く感じますが講師の方からの要請ですか。
- <安野> 講演は3つのテーマでおこなわれ、講師の方と話し合いそれぞれ30分、20分、20分で講演いただく予定です。
- <橋本> ワークシートの設えの意味を教えてください。
- <安野> アンケート形式よりすぐ行動をおこすのに、行動を簡潔に表記できるワークシートの設えにしました。
- <橋本> 特定のことにしぼらず、講演をきいてということですか。
- <安野> 講演をきいて自由に書いてもらいます。
- <小瀧> ワークシートはグループ1枚ですか。
- <安野> ワークシートは一人1枚になります。

<小瀧> その場合グループ発表は全員ですか。

<安野> 会議体ではグループ代表1名を考えております。

<中島(崇)>理事長コメントお願いいたします。

<村上> 議案を理事長にいわれたので変えたというのは少し問題があると思いますが。

<篠崎(達)>常任理事会でのご意見をうけて理事長所信にそう形の事業とするため、我われ会議体での話し合いでの結果としての議案の変更であります。このような直前での変更は申しわけありません。

<村上> 事業上程は会議体、委員会でおこなうものですから、誰かにいわれたから議案を変更したというのはおかしくなりますのでよろしくお願いいたします。

<安野> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。

<中島(崇)>審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いいたします。

太城議長 豊崎委員長

賛成32票、白紙1票、賛成多数審議格上げ 審議事項6番項

<中島(崇)>高松副議長、白票の意見お聞かせください。

<高松> 内容は問題なかったと思いますが、審議クールでの協議差し戻しは正しい審議ができなくなるので、理事メンバー一同よく考えていただきたい。

協一〇二 8月例会 第39回ふるさと宮まつり 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、鈴木委員長より上程文の読み上げ。

<福田(治)>なぜ宮っこ御輿が宇都宮J Cの運営事業ではないのかの説明をお願いします。

<鈴木(善)>宮っこ御輿は市民にもかつげる御輿をという要望を元に、宇都宮J Cが企画し開催委員会に提案し21年運営をさせていただいております。日中の開催ということで、宇都宮J Cが運行管理をおこなっております。

<福田(治)>J Cの事業ではないのですか。

<鈴木(善)>宇都宮J Cが企画をし、開催事務局の事業です。

<福田(治)>我われ単体ではなしえない事業です。そして我われが中心となって開催される事業でもあります。そのために予算もくんでおります。外部団体との協力のうえでの事業ですので安全、安心な運行を心がけてください。

<中島(崇)>理事長コメントをお願いいたします。

<村上> 歴史のある事業でありますので公益法人として整合性のとれた議案をお願いいたします。

協-03 2015年度監事推薦（案）について

協議資料に基づき、高松選挙管理委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>黒川監事は再任となりますが監事任期2年のなかでの再任となります。

<中島(崇)>理事長コメントをお願いいたします。

<村上> 特段ございません。

<高松> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。

<中島(崇)>審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いいたします。

金常任 羽石議長
全会一致 審議格上げ 審議事項7番項

協-04 6月新入会員認証（案）について

協議資料に基づき、高松副議長より上程文の読み上げ。

<木村(武)>入会申込書に興味などかいてあると理事メンバーは交流がはかりやすいです。

<中島(崇)>理事長コメントをお願いいたします。

<村上> 素直に非常にうれしく思っております。これからもメンバー一丸となって拡大につとめたいです。

<高松> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。

<中島(崇)>審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手を お願いいたします。

飯沼委員長 鈴木委員長
全会一致 審議格上げ 審議事項8番項

協-05 その他

<黒川> 11月例会議案上程がないのはなぜでしょうか

<中島(崇)>正副、常任でのご協議を経て、事業内容の大幅な変更にともない次クール、7

月正副からの上程とさせていただきます。

15. 報告事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-04 会費納入状況について

<宮林> 後期納入期限が6月末日となっております。前期未納者がまだおりますので、各会議体の議長、委員会の委員長の皆様、フォローお願いいたします。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 ビジター報告について

<太城> ご一読ください。

報-07 ビジター名簿について

<太城> ご一読ください。

報-08 6月例会 出欠報告について

<中島(崇)>ご一読ください

報-09 社団法人だて青年会議所との相互交流報告について

<木村(武)> 10月協同例会にむけての取り組みですが、新春交流例会での顔合わせ後ASPAC LOMナイトにて交流をはかりました。6月ラ・バンバにも参加・見

学にこられますので積極的な交流をお願いいたします。だて J C のだては 3 エリアからの構成であるため、かならずひらがな表記でお願いします。

<村上> 漢字の伊達 J C は北海道にございますので、間違えないよう重ねてお願いします。

報-10 2015年度理事長当選人について

<高松> 推薦委員会による立候補推薦、役員選任に関する規定に基づきまして2015年度理事長当選人が須山裕史くんに確定したことをご報告申し上げます。

2015年度理事長予定者挨拶

<須山>

貴重な理事会のお時間をお借りしまして、ただいま報告案件にありました2015年度第49代理事長候補予定者としてのスピーチをさせていただきたいと思っております。

選挙管理委員会のほうに6月4日に意見書および様式をすべて提出させていただきました。そして今回候補者としてあがっておりましたのは7名の次年度としての候補者がおりました。その方々と2015年度に対し宇都宮の、またLOMに対しての未来と真摯に向き合い、そして今回私が承認をいただきました。

2014年度のもちろん村上理事長の会期中ではございますので本年の役割、役職というものをしっかりとまっとうさせていただきながら、2015年度に対し準備をすすめていきたいと思っております。私は2005年に入会をいたしまして、様々な役職や役割をさせていただきました。皆さんはここに理事会構成メンバーとしてお座りになられていますが、何故J Cをやられているのでしょうか。またメンバーは何故J Cを続けているのか、やはり魅力があるのだと思います。私がもしJ Cに入っていなかったら、皆さんよくそういう話をされるかと思いますが、ただの兄ちゃんが終わっていたかなというふうに思います。

この理事会、またJ Cでいろいろ学ばせてもらったおかげで私もいろいろと成長させていただきましたし、経験をつませていただきました。ただ自分ひとりの力で今ここで話をさせていただいているとは思っておりません。様々な委員会に属し、そのときの委員長またメンバーに非常に目をかけられ、また先輩方にいろいろ教えていただきながら今日までできました。それは皆さんも一緒なのだと思っております。いろいろな経験をつみながら、J Cで学んだことを社会やまた会社に少しずつではありますが持ち帰れている状況であります。

さて次年度におきましては、2015年には全国大会主管立候補にむけて動きを進めていきたいと思っております。1996年の長野大会で私たちは全国大会、長野大会で宇都宮J C主幹の夢は破れました。しかしそこから夢は完全に消えたわけではなく、脈々と先輩方の想いというものは受け継がれているわけです。近年、拡大を続けてメンバーも150名近く増えてまいりました。この今いる理事会構成メンバーの皆様が中心となって次年度以降、立候補にむけて動きを進めていくということは夢で終わるとは私は思っておりません。必ずや先輩方のたっしてこなかったこの街に全国大会を呼ぶ、そしてこの街にJ Cを溢れさせてインパクトを与えていくというのが、やはり私たちに課せられた使命なのではないかなと思っております。

もう1点、来年は第49代でありますので、49年目の宇都宮J Cをむかえるわけであり、また新しい運動というものを、また新しいビジョンというものをこの街に発信していくというのが我われの運動で必要ではないのかなというふうに考えております。宮まつりが10周年の記念事業としてはじまり、来年は40周年をむかえます。最初はだし屋台だけのお祭りではありましたが、いろいろな団体が参加をし、参加者、観客を含め60万人の市民を巻き込む運動へ発展をしていきました。それ

はやはり宇都宮 J C が誇れる事業のひとつではないのかなというふうに思います。おそらく 50 年後 100 年後も宮まつりというものは継続されていることに間違いのないと思います。ただし、私たちも宮まつりだけに胡坐をかいているわけにもいきませんので、新しい事業、運動というものを宇都宮に対し発信を続けていく、こういったことが必要ではないのかと思います。

50 年という契機をむかえますのでその前段階にしっかりと準備を進めていく必要があるのではないかと私は感じております。この全国大会、また 50 周年をむかえるにあたり、私は 1 番必要なものは人材の育成が急務なのではないかなというふうに感じております。拡大が 20 名、20 名、40 名、と急ピッチに進んできました。私は 10 年間その J C にお世話になりましていろいろなことを学ばせていただきました。しかし 10 年いるメンバーというのも非常に少なくなってきましたし、育成、成長、経験というものをどのようにつんでいくのか、また研修というものをどのように考えていくのかということ来年は強く柱として考えております。立候補所信の中に、吉田松陰の言葉を書かせていただきました。夢なきものに理想なし、理想なきものに計画なし、計画なきものに実行なし、故に夢なきものに成功なしと。私たちは青年でありますので、この街の未来を語る権利があると思います。大きな夢を描き、その夢にむかい計画を実行し、汗をかく。このような団体がこの宇都宮、また日本にあるかといわれれば、それは J C しかないと思います。大きな夢を描き、是非ともこの街でその夢の実現のために理事会構成メンバーの皆さんと共に夢の成功にむけて汗をかいていければと思います。

最後となりますが、この街の未来を切り開いていくのは我われしかいないと思います。どうぞ 2015 年しっかりと準備を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

報一 1 1 メディア掲載報告について

<豊崎> リビングマロニエ・下野新聞におきましてラ・バンバの記事が掲載されております。ご一読ください。

報一 1 2 次回開催について

第 4 回臨時理事会 7 月 9 日（水）19:00～ コンセーレにて開催。

1 6. 監事講評

<飯野>

まず総務委員会の皆様、本日も理事会の設営早い時間からやっていただきまして誠にありがとうございます。冒頭まずはセレモニーの件ですが、村上理事長や福田直前理事長からもお話ありましたので、私の方はそんなに細かくは申し上げないのですが、やはり冒頭のセレモニーというのは一般的に J C 運動に切り替わるスイッチだといわれております。やはり日常の仕事から理事会や委員会の場に来てセレモニーをやることによって初めて意識が切り替わって J C の内容に入っていく。そのはじめのセレモニーがぐだぐだとなってしまったりとか、きっちりいかないと、そこから先、たとえば今日の理事会の内容も雰囲気的にだらだらと入って行ってしまっていて、内容もなかなか締まったものになりにくいと思います。ここにいる理事会構成メンバーの皆様は当然ながら宇都宮 J C を代表する皆様ですので、委員会に帰られてもきっちりとしたセレモニーを淀みなくやっていけるように次回以降にもみずにするようにしていただきたいと思っております。

本日の議案、細かい個々の議案については申し上げます。けれども全体の流れとして私

も感じるところがありましたので申し上げさせていただきます。これからお話する内容は、たとえばこの委員会、この委員長を攻撃するというのではなくて、よりよい議事進行を行うためにということでご理解いただければと思います。

1点目が常任理事会で上がった議案が理事会にあがってこない。手続き的には問題があることではないのですが、それでは常任理事会に議案があがってきたということがどういうことであったのか、恐らく常任理事会で上がってきた議案を私もみさせていただきましたが、添付資料、案内文などしっかりと作りこまれており、上がってきた議案でございました。それをどういう気持ちで上げて、そして今回どのような気持ちで上程しなかったのかはちょっとわかりませんが、各委員長の皆様の後ろには委員会メンバーがいらっしゃる委員、委員会メンバー一同でいろいろ積み重ねた上ではじめて議案としてできあがって、それが上程されてきているのだと思います。ですので非常に非常に重いものなのではないかと思えます。上程をやめて次のクールで上程すればいい、そうすると今回常任理事会で議論した時間はなんだったのだろうということにもなってしまいますし、そのあたり議案を上程することの重みというものを理事会構成メンバーの皆様にも再度認識していただきたいと思えます。

そして本日議案の資料の件ですけれどもコンプライアンスの受付表がついてない議案が1つだけあがっているような状況でございます。これは添付するというのはまったく難しいことではないです。単に注意すればいいだけのことでございますので、私としてはどうも慣れてきたところでございますので緊張感がなくなってきてしまったのではないかなと感じているところでございました。まだ折り返し地点というお言葉がございましたけれども、後半またここから意識を切り替えていただいて上程、理事会の進行をしていただければと思います。

次に本日、報告の中で須山次年度理事長予定者の報告がございました。素晴らしいスピーチをお聞きさせていただきました。是非、本年度理事会の構成メンバーの皆様におかれましても、宇都宮JCのために本年度村上理事長支えるのと同様にまた次年度もお支えいただければと思います。

そして最後にいうまでもないことですが、本年度があつての次年度でございます。本日ワールドカップのお話もございましたけれども残念な結果になってわたしもTVでいろんなインタビューなどを拝見しておりました。本当に選手の皆様の敗戦での言葉をきいていると悔しさがにじみでてきていて悔しさが非常にたわわってくるような話でした。そこまで残念に思う理由のひとつというのが、あの日本代表メンバーで世界に挑戦できるという機会は今回だけだったわけです。4年後にまたやろうとしてもこのメンバーではもうできない。宇都宮JCも同じだと思います。この理事会構成メンバーでしかできない事業やできない例会というものがあります。本年度おこなわれている事業例会というのは、おそらく同じものは前年度でもできないし、次年度でもできないと思えます。そういった意味で是非この理事会構成メンバーの皆様、まだまだ後半戦様々な事業がございまして、是非後半の事業もしっかりと本年度ならではの素晴らしい例会をつくりあげていただきまして、最後にさよなら理事会が終わった後の懇親会での席で、笑ってまた1年振りかえられるようなそんな理事会を今後もうやっていただければと思います。

17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第6回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
飯野 貴道
澤畑 敦史